

平成24年度日本小児腎不全学会評議員会議事録

日時：平成24年9月13日(木)、12:00～13:00

場所：ホテルニューアワジ「大楽」

出席者（敬称略）：長谷川昭（名誉会長）、芦田明、飯島一誠、伊藤雄平、香美祥二、坂野堯、穴戸清一郎、高橋公太、谷澤隆邦、野々村克也、服部元史、藤澤正人、本田雅敬、柳原俊雄、吉川徳茂、渡井至彦、和田尚弘（以上16名、欠席10名のうち委任状8名）

第34回日本小児腎不全学会藤澤正人会長の挨拶、そして今年度から評議員に就任された芦田明、飯島一誠、香美祥二先生の挨拶につづき、以下のように各議題が討議された。

議題

(1) 会計報告・予算案

平成23年度の会計報告ならびに平成24年度の予算案が事務局より報告された。会計報告が適正なことが監事である高橋(公)評議員によって報告され、平成23年度の会計報告と平成24年度の予算案が了承された。

(2) 会員動向

平成24年3月31日現在の会員数は、正会員466名、名誉会長2名、名誉会員9名であると事務局より報告された。会員数は少しずつ増加しているが、筆頭演者は会員である必要性を引き続き周知徹底させることが確認された。

(3) 名誉会員の推薦

今年度は該当者なし。

(4) 評議員の推薦

大山力先生（弘前大学医学部泌尿器科）、北田秀久先生（九州大学病院臨床腫瘍外科）、野島道生先生（兵庫医科大学泌尿器科）が新評議員に推薦され、了承された。なお、現評議員のご定年、地域性、専門性（外科・泌尿器科系、小児科系）などを考慮して、来年の評議員会でも新評議員を推薦することにした。

(5) 次々期会長の選定

第36回会長（平成26年度）に杉谷篤先生（国立病院機構米子医療センター外科）が推薦され、了承された。

(6) その他

1) 今回の学術集会から始まった優秀演題賞について、審査方法、表彰記念品などについて議論された。とくに審査方法については、次期会長の本田先生と相談しながら、より良い審査方法の確立に向けて議論を進めていくことになった。

2) 事務局より、学会雑誌掲載論文の倫理規定と個人情報保護に関するチェックを強化する必要性が指摘された。対策の一つとして、論文投稿に際して自己チェックリストを提出することが提案され、自己チェックリストとして、日本小児腎臓病学会雑誌で使用されているものを参考にすることになった。

3) 事務局より、学会雑誌作成費用に関して、雑誌のサイズをA4版に変更するなどして1ページあたりの単価が安く抑えられていると報告された。なお、有料別冊代やページ超過代の未納者には督促することが確認された。

4) 国際小児移植学会(IPTA)セミナー（2012年9月23日、名古屋）の案内があった。

5) 事務局より、第13回小児医学川野賞候補者推薦の依頼について案内があった。

(7) 次期会長の挨拶

第35回会長の本田雅敬先生より準備状況が報告された。

平成25年10月24日(木)～10月25日(金)、磐梯熱海ホテル華の湯（福島県）

日本小児腎不全学会事務局
議事録作成 服部元史
議事録署名人 藤澤正人
柳原俊雄

